特別賞

# 看護部働き方改革プロジェクト：「繁忙度表」を活用した「看護師長の病床・業務調整会」による人員の采配と応援体制づくり

**公益財団法人 東京都保健医療公社　東部地域病院**
東京都葛飾区
314床 ／ 職員数 356名（うち看護職員数 238 名）

## 課題・背景

「新型コロナウィルス感染症専用病棟（以下、コロナ病棟）」の開設に伴い、一般病棟が再編成され、多くの診療科の患者が入院する混合病棟となり繁忙度が増加。1年に6回もの病棟編成で職員は疲弊し、時間外業務が常態化した。この状況を改善するため、**コロナ病棟と一般病棟・ICU病棟を合わせた繁忙度表を作成**し緊急入院・応援看護師の的確な采配を行い、時間外業務の削減に取り組んだ

## 目的・目標

①**院内各部署の繁忙度を看護部全体で共通認識を持ち円滑なベッドコントロールを行う**
②**繁忙度に応じた人員の采配・応援体制の確立**
③**時間外業務の削減**
看護部全職員・部署間で助け合い、繁忙度表を活用した人員の采配を実現する

▶ **繁忙度に応じた人員采配で、時間外業務の削減を目指す**

| | ICU | A病棟 | B病棟 | C病棟 |
|---|---|---|---|---|
| 在患者数（8時現在） | 4 | 33 | 0 | 28 |
| 担送・護送・独歩（*2）・（*1.5）・（*1） | 8 | 44.5 | 0 | 38.5 |

## 取り組み内容

### ①繁忙度表の作成

患者数、看護業務、検査、手術などの各項目を点数化し、
各部署の日勤帯の業務状況を可視化

### ②応援体制の確立

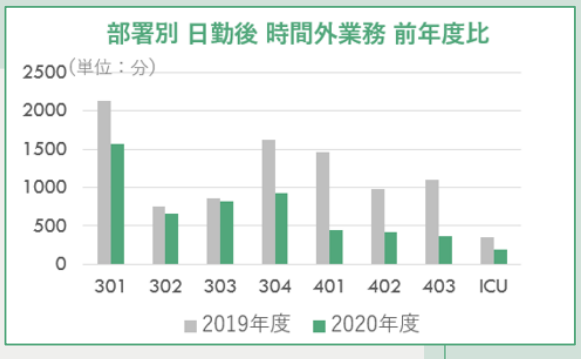
応援看護師を繁忙度表の点数が低い病棟から高い病棟へ采配。毎日の朝会で繁忙度表の点数や日勤勤務者に応じて派遣。
また、 看護方式：PNS*のリシャッフル機能を活用し、病棟看護師1名+応援看護師1名(看護師2名)
でケア・緊急入院対応にあたることで、応援看護師が応援先での業務を迷うことがなくなる。

※ Partnership Nursing System

## 成果・効果

### ①業務に要する時間の短縮

**繁忙度表に状況が入力されているため、病床管理看護師長のラウンドの時間短縮**（40分➡15分）
朝会で応援看護師の采配を行うため、各部署の看護師長は**応援看護師の依頼が省略可能**




### ②時間外業務の削減

繁忙度表により業務量の可視化を行い、適切な応援体制が確立したため、 **9,228時間(2019年) ➡ 5,420時間(2020年) に減少**

### ③看護師の精神的負担の軽減

繁忙度表により、他部署の業務内容(繁忙度)が可視化され、**各部署の業務の不公平感が緩和**

### ④看護師の人員配置の最適化

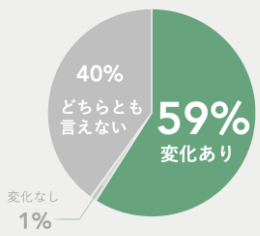
繁忙度表の活用による応援看護師の采配で、繁忙度が高い部署への配置が可能に

### ⑤チーム連携の向上

他部署の繁忙度が可視化されたことにより、**看護師の自主性が向上**

### ⑥有給休暇消化率の部署間の差が減少

有給休暇消化率が低い部署に優先して応援に行き、その部署の勤務者を休みにすることで実現

**職員アンケート**

Q.「自部署」だけが忙しいという思いに変化があったか